

2023-2024 年度 第 2 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 広報情報委員会 議事録			
開催日時	令和 5 年 8 月 2 1 日 (月)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 地下会議室
出席者 (参集:○) (Web :W)	副会長 小松 委員長 ○白川 副委員長 ○長友 委員 櫻田・○庄司・鈴木・○工藤・○熊澤・矢後・杉本		
<p>1. あいさつ 白川委員長より</p> <p>2. 委嘱状の授与</p> <p>3. 各種報告事項等</p> <p>・前回議事録の確認</p> <p>4. 議題</p> <p>(1) 「(仮称) 会員サポートセンター (「サポセン」)」 設立に向けて</p> <p>①設計図書保管サービスに向けたアンケートについて</p> <p>・白川委員長が最終アンケート (案) のまとめることとした。また、アンケートデータが届き次第、フォームズで磯部が作成送することとした。 アンケート実施については、9/21 理事会で報告後とした。アンケート実施期間：9/22～10/6</p>			
<p>広報情報委員会では、(仮称)会員サポートセンターの設計図書保管サービス内容の検討をしています。そこで、会員の皆様の導入実態を把握することになりました。</p> <p>問1;現在、設計図書等の保管にオンラインストレージを利用していますか？ 回答) あ)利用している。 い)利用していない。</p> <p>問2-1;問1であ)とお答えの方にお聞きします。次の点についてお聞かせください。 (※複数ご利用の場合は、サービス毎にそれぞれご回答ください。) 回答) あ)利用しているサービスの名前 (任意回答) い)提供している事業者 う)利用開始時期 え)サービス内容(容量について) (※記載できるように) お)サービス内容(料金について) (※記載できるように) か)利用しているサービスについて、メリット・デメリットなどをお聞かせください (記載欄) き)その他お気づきの点があればお聞かせください (記載欄)</p> <p>問2-2;問1であ)とお答えの方にお聞きします。次の点についてお聞かせください。 回答) あ)利用しているサービスの名前 (任意回答) い)提供している事業者 う)利用開始時期 え)サービス内容(容量について) (※記載欄) お)サービス内容(料金について) (※記載欄) か)利用しているサービスについて、メリット・デメリットなどをお聞かせください。 (※記載欄) き)その他お気づきの点があればお聞かせください。 (※記載欄)</p>			

問3; 問1で い)とお答えの方にお聞きします。
オンラインストレージ導入について、どう考えていますか。

回答)

- あ)導入しようと考えており、導入が決まっている。
- い)導入しようと考えているが、導入時期等は未定。
- う)導入したいので、情報が欲しい。
- え)導入は考えていない。

問4;(仮称)会員サポートセンターで行う予定のオンラインストレージ・サービスの紹介について、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

回答)自由記入(任意)

(※記載欄

)

(ご意見等)

- ・オンラインストレージの説明が必要では。
→ 今回は不要。
- ・各委員会でオンラインストレージを利用しては。
→ チャット化も含め、検討する
- ・神事協独自で提供する場合は、竣工図のみ預けることは可能とし、オーナーであれば内容確認等が出来る仕組みが良いのでは。

- ・参考：東京都建築士事務所協会マネジメント支援センター提供サービス
(ISS：NTT 東日本とヤマトシステム開発の共同出資企業を利用)
紙ベースでの書類保管
初期費用：段ボール代 200 円/箱+集配料 3,000 円 (10 箱まで) +入庫料 100 円/箱
書類保管料 (月額)：100 円/箱
「15 年間コミコミプラン」(保管、梱包運搬、リサイクル溶解込み) 18,000 円/箱 (税別)
スキャニング (電子化) サービス、図面保管サービスあり

②ホームページ開設支援サービスに向けたアンケートについて

- ・アンケート (案) を以下とし、フォームズで磯部が作成送することとした。
アンケート実施については、上記同様 9/21 理事会で報告後とした。
アンケート実施期間：9/22～10/6

広報情報委員会では、(仮称)会員サポートセンターのホームページ開設支援サービスの検討をしています。そこで、会員の皆様の事務所の状況を把握することになりました。

問1; 現在、設計事務所のホームページ(HP)は開設済みですか。

回答)

- あ)HP は開設済みである。
- い)HP は開設していない。

問2; 問1であ)とお答えの方にお聞きします。
HP を開設している目的は何ですか。(複数回答可)

回答)

- あ)新規顧客の開拓
- い)設計事務所の信頼感向上
- う)事務所情報や作品集等、web 版の事務所案内
- え)情報発信

お)人材募集

か)その他

(※記載欄

)

問3; 問1で あ)とお答えの方にお聞きします。

HP 作成方法を教えてください。

回答)

あ)自作

い)外注(HP 制作会社等)

問4; HP 作成サービスは何を利用していますか。

回答)

あ)Wix(ウィックス)

い)STUDIO(スタジオ)

う)Jimdo(ジンドウ)

え)WordPress(ワードプレス)

お)Ameba Ownd(アメーバ オウンド)

か)Weebly(ウィーブリー)

き)その他

(※記載欄

)

問5; 問3で あ)とお答えの方にお聞きします。

HP 開設に要している費用を教えてください。

回答)

あ)HP 開設初期費用:約()万円

い)HP 維持費 :約()万円/年

問6; 問3で い)とお答えの方にお聞きします。

HP 開設に要している費用を教えてください。

回答)

あ)HP 開設初期費用:約()万円

い)HP 維持費 :約()万円/年

問7; 問1で い)とお答えの方にお聞きします。

HP を開設しようと考えていますか。

回答)

あ)HP を開設する予定である

い)HP は開設しない予定

う)未定

問8;(仮称)会員サポートセンターのホームページ開設支援サービスについて、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

回答)自由記入(任意)

(※記載欄

)

参考:東京都建築士事務所協会マネジメント支援センター提供サービス
ホームページ作成会社を数社紹介。

③「業務支援委員会との合同会議」開催について

・業務支援委員会と調整し、進めていくこととした。

④その他

- ・ホームページ作成の委託先については、複数見積もりを取ることにした。（白川委員長担当）

(2) 「ソーシャルメディアガイドライン・ポリシー」の制定について

- ・基本事項を確認。
- ・次回までに各委員で「ソーシャルメディアポリシー」についての資料収集をすることとした。

①用語の確認

ソーシャルメディアとは

人や企業が情報を発信・共有・拡散することによって形成される、インターネットを通じた情報交流サービスの総称。

ソーシャルメディアの形態には、SNS（Social Networking Service）・電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイトなどがある。

ソーシャルメディアガイドラインとは

企業あるいは従業員がソーシャルメディアを利用するときの指針やルールを解説した社内向けの文章のこと。

ソーシャルメディアポリシーとは

利用するときの立場や態度、心構えを社外の人に解説した文書のこと。

コミュニティガイドラインとは

ソーシャルメディア運用上の免責事項や禁止事項、削除方針、調停などのルールを社外の人に向けて解説した文書のこと。

それぞれの文書は必ず用意する必要はない。

社外向けの『ソーシャルメディアポリシー』と『コミュニティガイドライン』は、どちらかしか作らないケースもある。

②ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーを作る目的

ソーシャルメディアに関連したトラブルを防ぎ、企業の利益や信用を守ること

1) 投稿の品質を守る

- ・ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーを作るのには、ソーシャルメディアの投稿の品質を守る。
- ・ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーにて、運用するときのルールが決められます。ルールは業界によって異なりますが、行動に対して『推奨』や『禁止』『注意』がはっきりとしていれば、投稿の品質を一定に保つことができます

例えば以下のような項目を作るのがおすすめです。

- ・文章に関連したルール
文体（堅さと柔らかさのバランスや口調）、絵文字や顔文字の使用可否など
- ・写真や動画に関連したルール
色味や明るさのバランス、著作権・肖像権を侵害していないかなど

- ・投稿に関連したルール
投稿する時間、曜日、1日の投稿回数、投稿に使用するツールなど

2) 属人化を防ぐ

- ・ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーを作ることで、属人化を防ぐことができます。1つのSNSアカウントに対して運用人数は、1人から数人で運用していることが多いのではないのでしょうか。少人数でSNSアカウントを運用することで、属人化しやすくなります。属人化してしまうと、以下のようなリスクが発生する可能性があります。

- ・継続した運用が困難になる
- ・担当者が変わり投稿に統一性がなくなる
- ・トラブルが発生したときに対応しきれない
- ・個人の勝手な判断で対応してしまいトラブルがさらに悪化する

3) 炎上などのトラブルを防ぐ

- ・ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーを作るもっとも重要な目的は、ソーシャルメディアに関する炎上などのトラブルを防ぐことです。

最近では、ユーザーとソーシャルメディアで頻繁にコミュニケーションをとっている企業も増えています。コミュニケーションをとることで、認知拡大やファンを作ることができるメリットがあるためです。しかし、ユーザーとの距離が近いため、炎上やトラブルのリスクが高くなります。

また、ソーシャルメディアで発信したことは、フォロワーやファンだけでなく、誰もが目にすることができます。そのため、意図しない形で情報が拡散される可能性もでてきます。

このようなトラブルを防ぐためにも「やっても良いこと、やってはいけないこと」や「トラブルが発生したときの対処法」などを分かりやすくまとめている「ソーシャルメディアガイドライン／ポリシー」を作る必要があります。

③ソーシャルメディアガイドライン／ポリシーでおさえるポイント

- ・基本方針・原則について
- ・機密情報の保護について
- ・第三者の権利の保護について
- ・顧客、取引先等の情報の保護について
- ・透明性の確保について
- ・誹謗中傷の禁止について
- ・真偽不明の情報発信の禁止について
- ・自社に関連した情報発信のルール（規則）について
- ・個人の責任の明確化について
- ・ソーシャルメディアの特性の理解について

④ソーシャルメディアガイドラインの作り方

- ・目的と方針を整理する
- ・ガイドラインの適用対象を設定する
- ・対象部署などにヒアリングをする
- ・骨子を作成する
- ・対象部署などに再度ヒアリングをする
- ・骨子とヒアリングを元にソーシャルメディアガイドライン作成
- ・対象部署などに再度ヒアリングをする
- ・対象部署などに周知する

⑤その他

- ・参考：SNS利用時の注意点（全国市町村国際文化研修所）
一般社団法人SNSエキスパート協会 代表理事 後藤真理恵 様作成記事

（ご意見等）

- ・ルールを作るためには時間が掛かる。
- ・投稿者名の記載は必ず必要。
また、投稿者は、指定のSNS研修会（一般社団法人SNSエキスパート協会に協力を依頼）受講者のみに限定してはどうか。
- ・投稿内容をリアルタイムで確認することは難しいため、1か月分の内容を提出して頂き、当委員会でチェックする方法が良いのでは。
- ・投稿内容は、活動報告、活動予告など、神事協の活動内容に限定する。

（3）会員のページ内コンテンツ（一部）の不具合について

- ・当会ホームページの前々作成会社（プロフィックス 杉浦氏）が作成した、会員ページ内のコンテンツが、ファイルアップローダープログラムの不具合（php8.1に未対応）により表示できなくなっていること。
ホームページ作成会社からは、ファイルアップローダープログラムをphp8.1に対応するよう改修することは可能だが費用が以下の通りとなることを報告。
ただし、ファイルアップローダープログラムを使用しないのであれば廃止も可能。

調査費 20,000 円

ファイルアップローダープログラム改修 5,000 円×14=70,000 円 合計 90,000 円

→ 委員会としては、専門家ではないため判断できない。詳しい方に聞いてみても良いのでは。

（4）その他

- ・なし

次回委員会日程について

令和5年9月29日（金）15:00～17:00 神事協会議室（WEB併用）とした。